



DATA SECTION

2026年3月期（3Q） 決算説明会資料

データセクション株式会社
2026年2月17日
証券コード：3905



DATA SECTION

1. 2026年3月期（3Q）実績
2. 2026年3月期 計画
3. 新株予約権の発行及び行使状況
4. Appendix

1. 2026年3月期（3Q）実績

- ・AIインフラ事業※におけるサービス提供が本格化し大幅增收、調整後EBITDAが黒字化
 - ・売上高 159.2億円（前年比+673.0%）
 - ・調整後EBITDA 6.9億円（前期は▲0.4億円）
 - ・3Q単体ベースで売上高141.8億円、営業利益10.3億円、調整後EBITDA14.8億円、経常利益9.6億円、親会社純利益8.9億円計上。各段階利益がいずれも黒字化
- ※ 2026年3月期 3Q決算よりAIデータセンター事業より名称変更

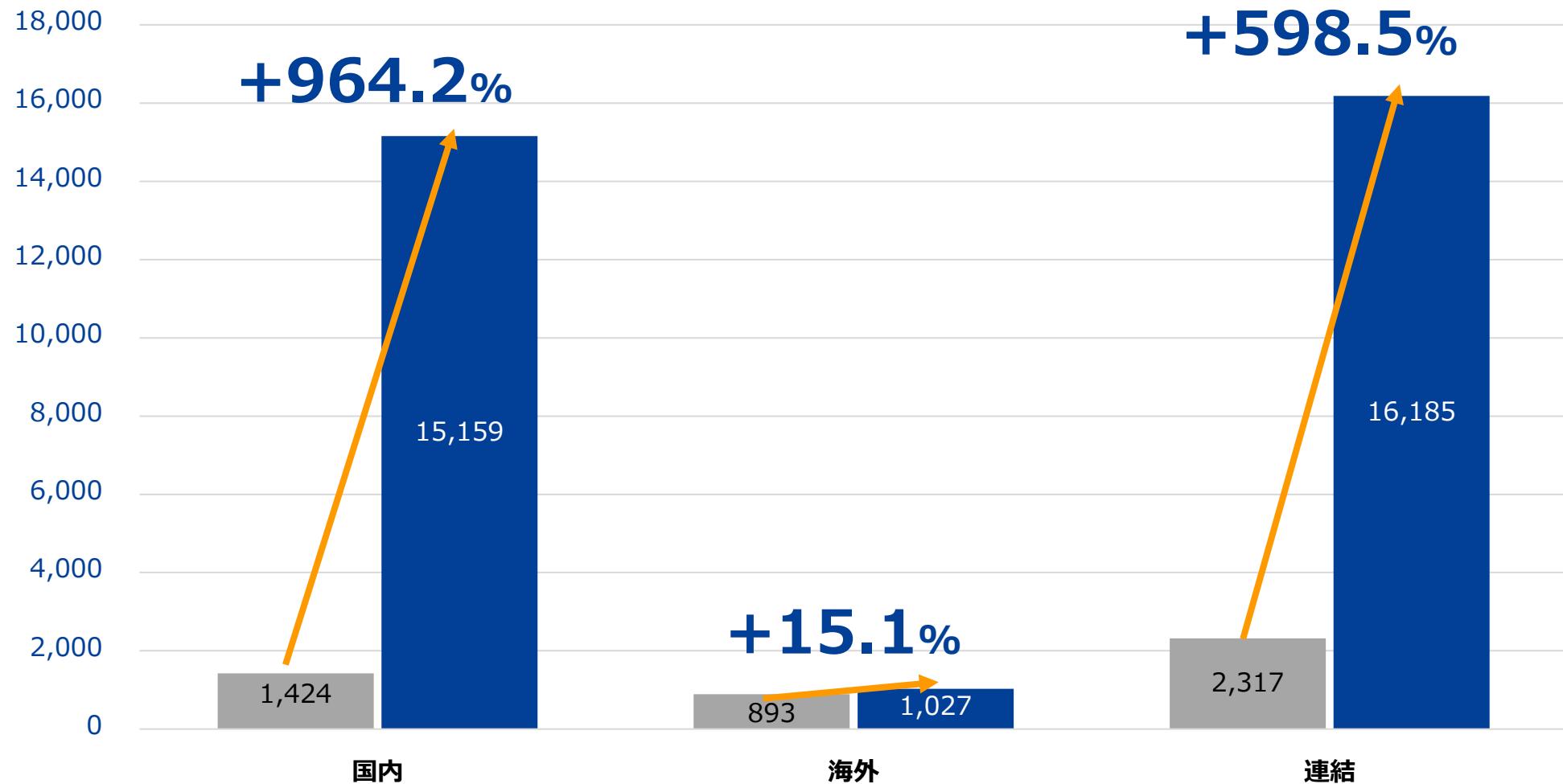
(百万円)	26年3月期（3Q） 実績値	前年対比	
		実績	差分
売上高	15,929	2,060	+13,868
営業利益	▲332	▲281	▲50
調整後 EBITDA*	+698	▲49	+747
経常利益	▲464	▲381	▲82
親会社純利益	▲566	▲403	▲163

(*) 調整後EBITDA：営業利益+減価償却費+無形固定資産償却費+株式報酬費用+M&A関連費用

- ・国内はAIインフラ事業のサービス提供が本格化し大幅成長
- ・海外も着実な成長

(単位：百万円)

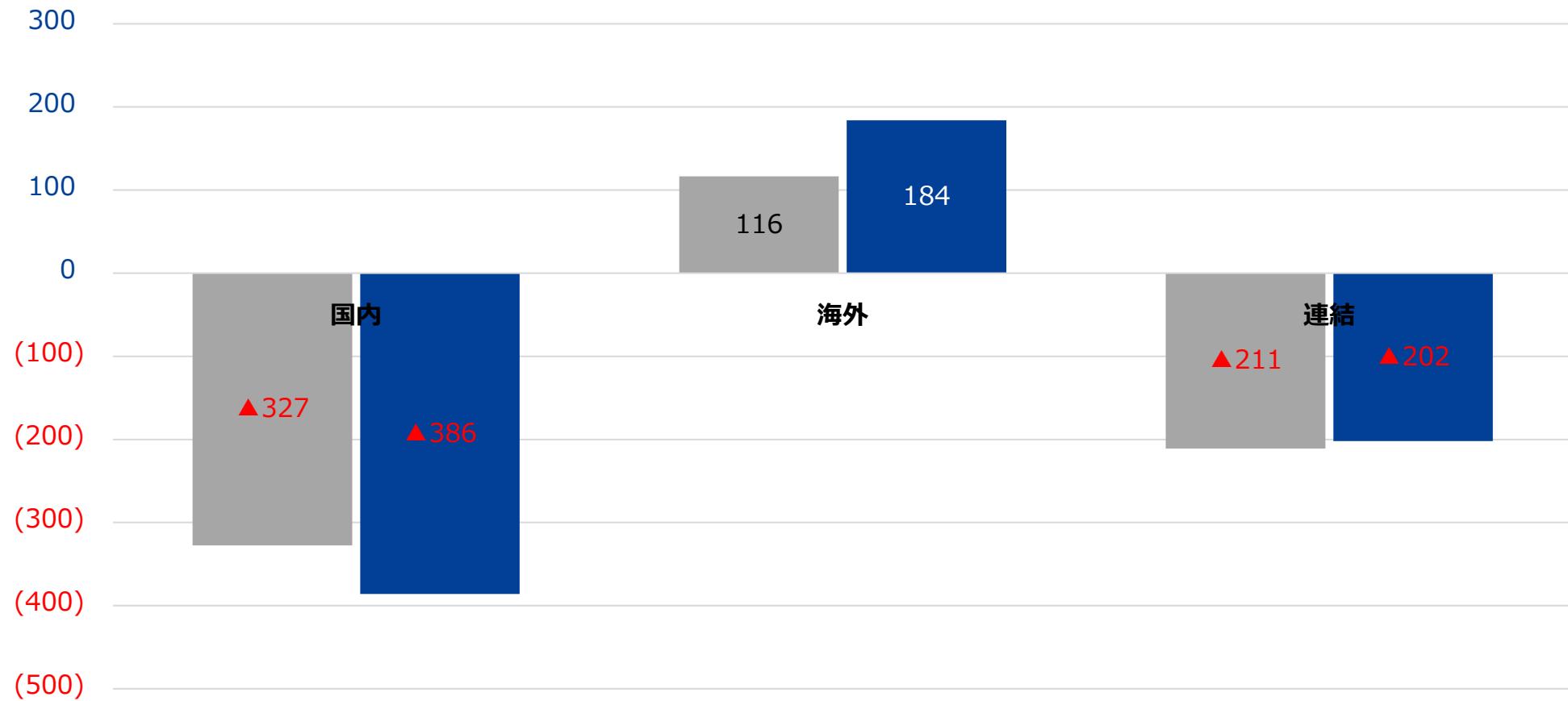
■ 25年3月期3Q ■ 26年3月期3Q



- AIインフラ事業関連は国内セグメントとして計上、サービス提供の本格化により、2Qの▲1,400百万円から大幅改善、株式報酬（約612百万円）等を除くと黒字化
- 海外は、過年度のソフトウェア開発の償却負担があるものの増益
- 連結では損失減少

(単位：百万円)

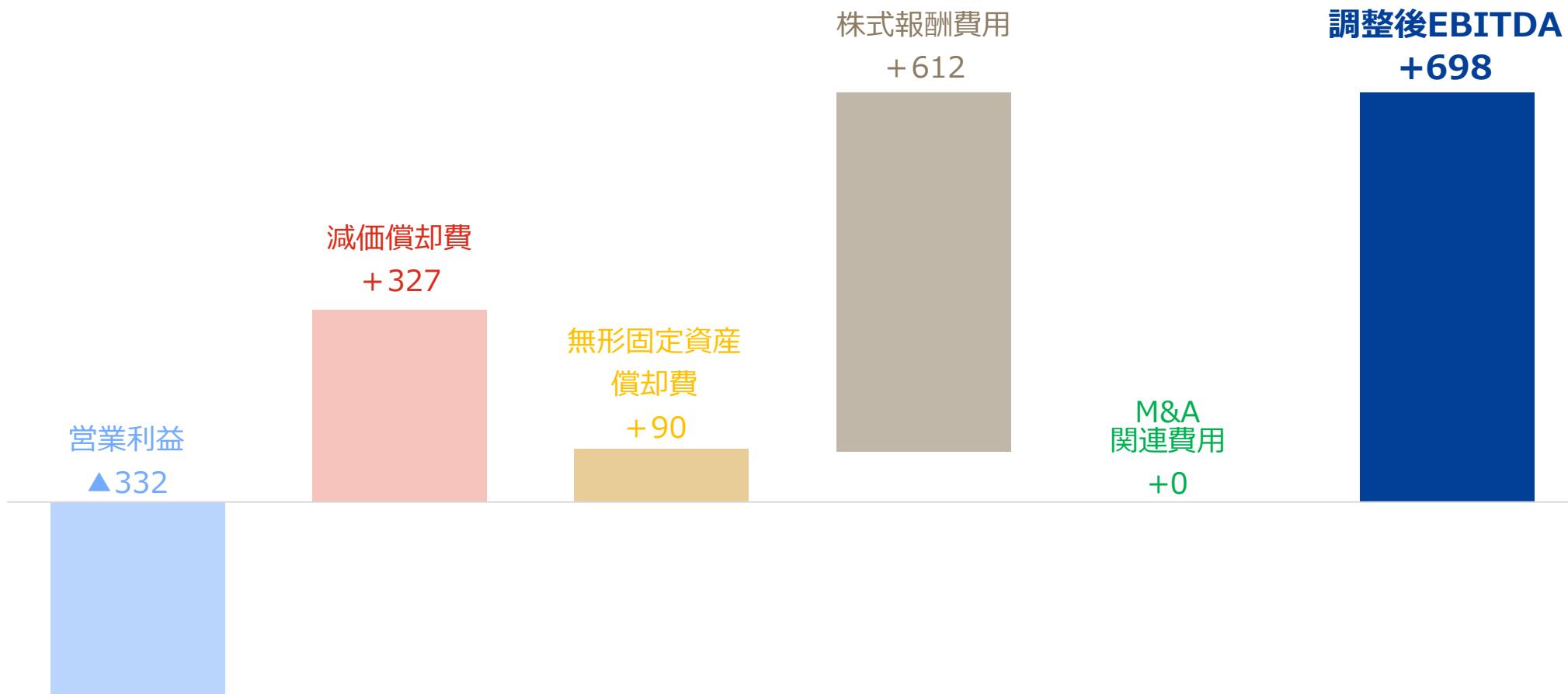
■ 25年3月期3Q ■ 26年3月期3Q



- ・実質的なCF創出力を示す調整後EBITDAは、3Qで黒字化（2Qは▲784百万円）、年度ベースでも黒字化を予定

※調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 無形固定資産償却費 + 株式報酬費用 + M&A 関連費用

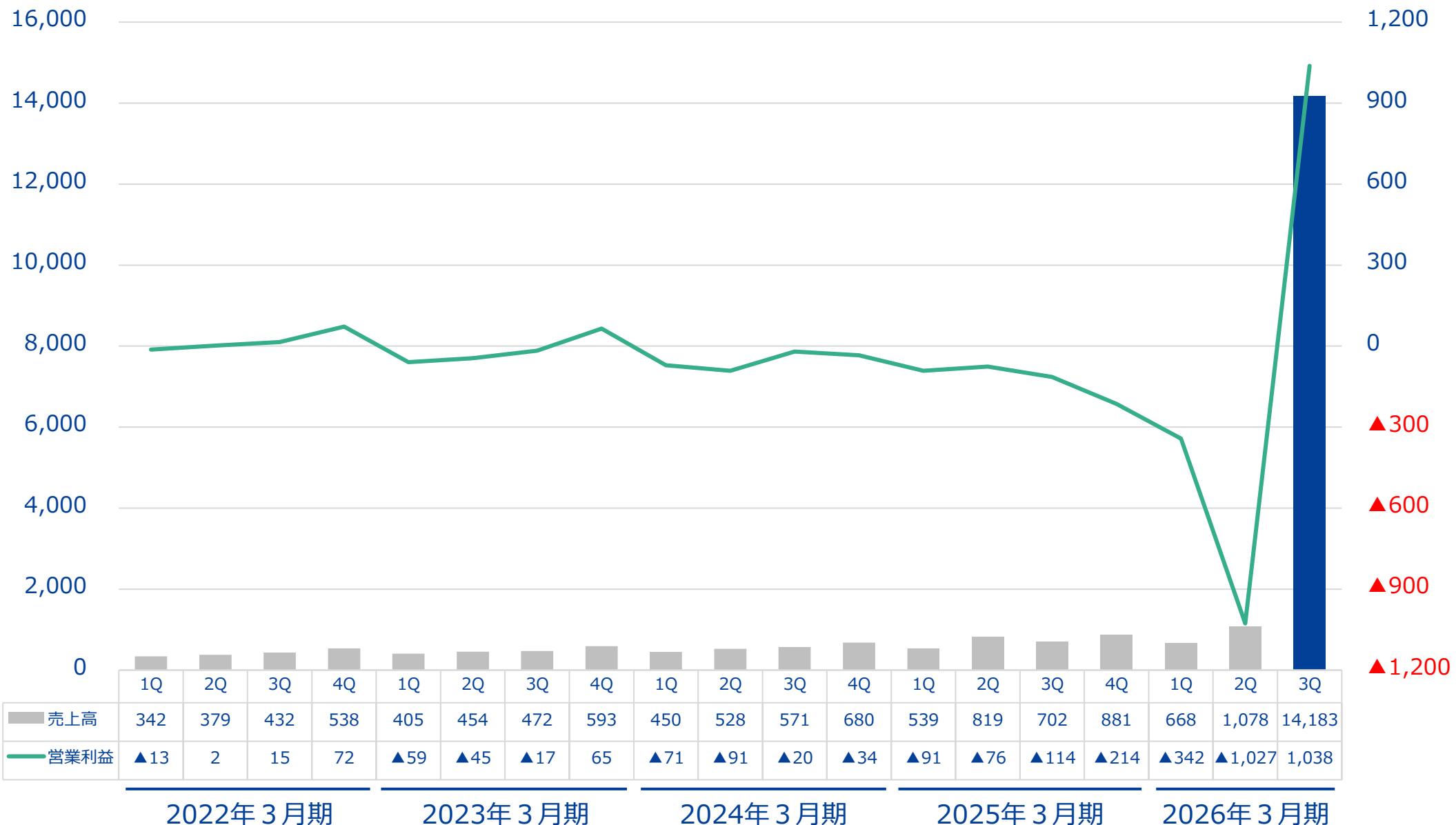
<26年3月期3Q 実績>



四半期毎売上高・営業利益推移（連結）

1. 2026年3月期（3Q）実績

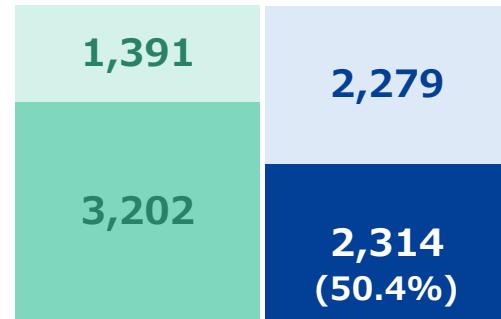
（単位：百万円）



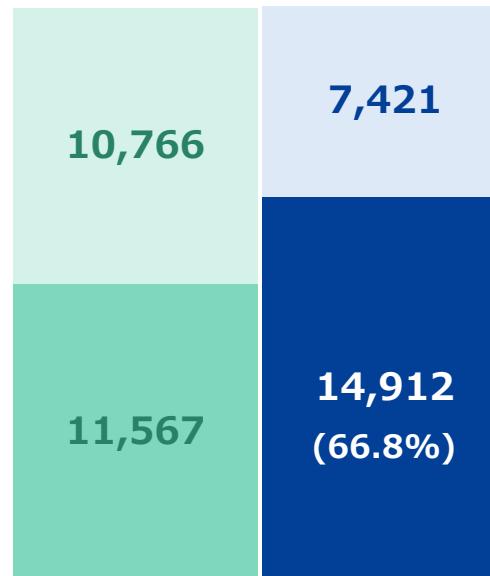
・第23回新株予約権の行使などにより、資本金及び資本剰余金を中心に大きく増加

2025年3月期 期末
(2025年3月31日)

総資産 4,593

2026年3月期 3Q末
(2025年12月31日)

総資産 22,333



(単位：百万円)

- 主要な増減要因 -

○ 流動資産 : +9,374

- ・ 現金 : +4,458
- ・ 売掛金 : +4,195

○ 固定資産 : +8,364

- ・ 工具器具備品（簿価） : +2,994
- ・ 敷金 : +3,180

○ 負債その他 : +5,142

- ・ 短期借入金 : ▲718
- ・ 預り金 : 4,306

○ 自己資本 : +12,598

- ・ 資本金 : +6,573
- ・ 資本剰余金 : +6,570
- ・ 新株予約権 : +1,299

- ・ 世界的にGPUへの需要が高まる環境下において、GPU獲得競争は一段と激化している。一方で、日本企業は、GPU獲得競争において後れを取り、国内AIインフラ構築は、未だ期待された成果を見せていない
- ・ 当社は、日本企業として唯一、大規模AIクラスターの構築を進めており、GPUの大量確保、電力供給の確保、顧客の確保をグローバルで進めている
- ・ 当社は、いわゆる“ネオ・クラウド”企業として、アジア・パシフィックにおいて圧倒的な地位をすでに確立。着実にプロジェクトのエクセキューションを進める
- ・ 今期及び来期内のプロジェクト・パイプラインとして、B200/300及びGB200/300の導入を進めるが、AIインフラを構成する様々な要因から、大規模クラスターの構築を実現できる日本企業は現在当社を含め限定期（サプライヤーとのパートナーシップ戦略により、GPU調達力は、国内企業としては圧倒的）
- ・ 大規模クラスターの運用を可能とする「TAIZA」が、業界での優位性を更にけん引。「TAIZA」はグローバル顧客によるテストを経て、高い評価を受けている

特殊な地政学的環境下において、日本で世界規模のAIインフラを構築することで、デジタル赤字を改善し、あらゆるセクターでの経済成長を後押しする

- ・ 2025年9月よりAIインフラ事業の売上計上を開始（9月途中からGPUクラスターを順次追加し、9月は約3億2千万円の売上を計上）
- ・ GPUの運用が本格的に開始され、2025年10月より単月でAIインフラ事業において約45億円の売上を計上
- ・ 段階的にGPUの運用数は順次増加。2026年2月17日時点で20,000個以上達成
- ・ 顧客からの需要を受け、国内外で電力供給確保を加速（DCサイト契約を締結）
- ・ 今後、B200に加え、B300、GB200/300の大規模導入を進め、AIスーパークラスターの構築を目指す（以下、2025年及び2026年のプロジェクト）
以下、プロジェクトA及びBは受注済み案件、プロジェクトC以降は見込案件

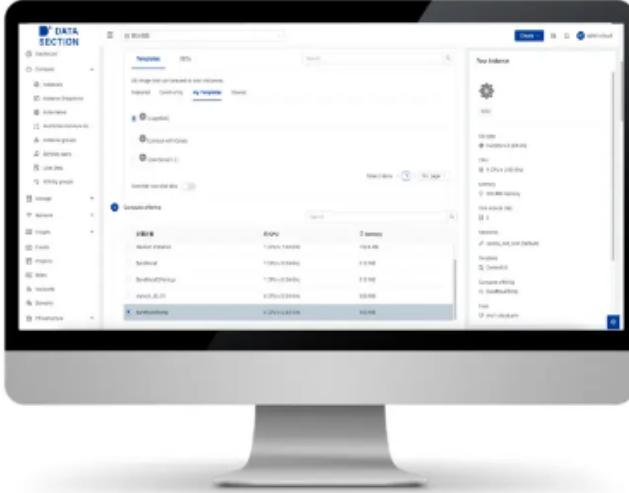
- プロジェクトA : B200 5,000個、日本
- プロジェクトB : B200/300 10,000個、オーストラリア（30,000個まで段階的に拡大）
- プロジェクトC : B200 5,000個、タイ
- プロジェクトD : GB200/300 70,000個（1,000ラック規模）
- プロジェクトE : GB200/300 100,000個（1,500ラック規模）
- プロジェクトF : B300 30,000個、場所は調整中
- プロジェクトG : B200 5,000個、日本
- プロジェクトH : B200 5,000個、日本
- プロジェクトI : B300 70,000個、UAE
- 他

- ・2026年2月16日時点でTAIZAが運用するGPUは20,180個
- ・プロジェクト進捗に応じて順次増加

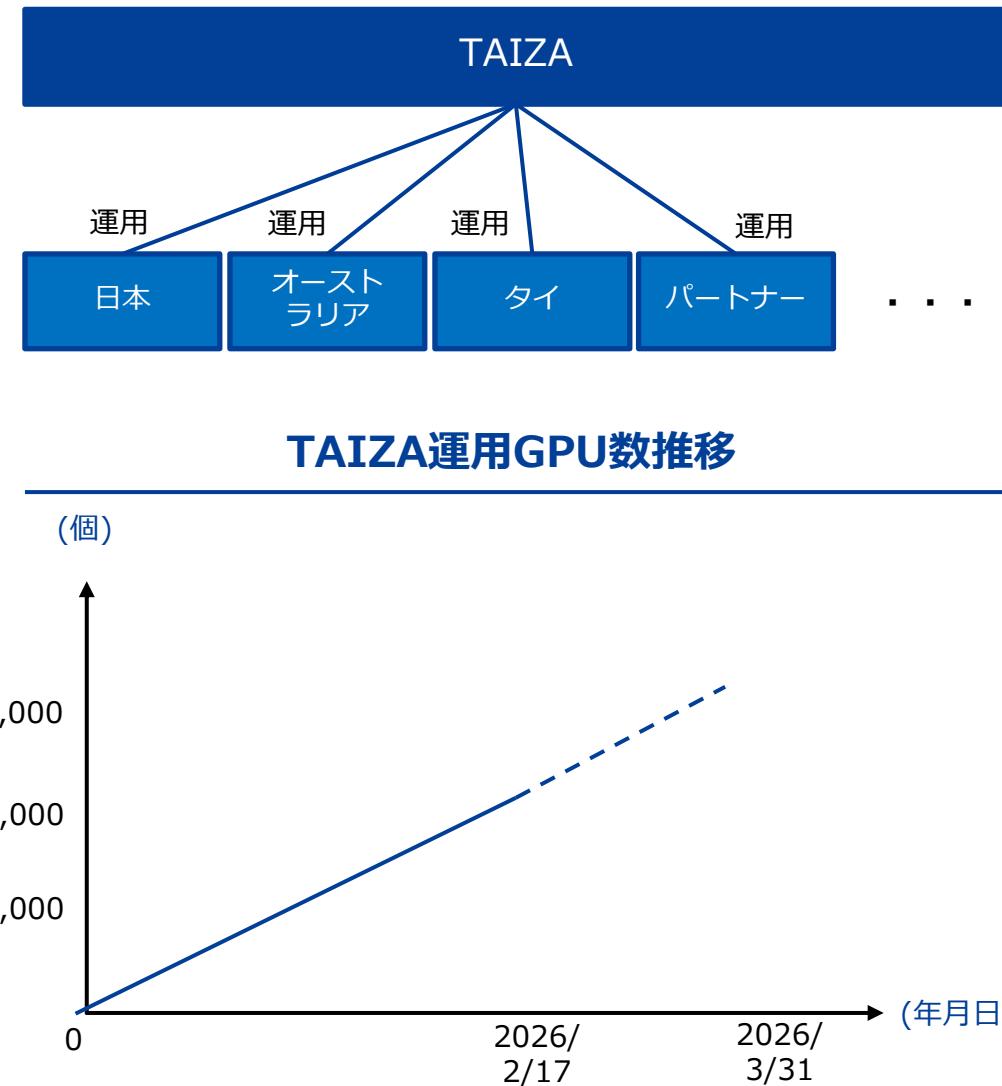
TAIZAが運用するGPU

20,180 GPU

(2026年2月17日現在)



データセクションクラウドスタック「TAIZA」が現在、運用しているGPUの数を表示しています。運用数に応じて、定期的に更新します。



- NVIDIA B300 GPU（10,000個）搭載サーバー（1,250台）の調達に成功し、グローバル初のハイパースケールとなるAIクラスターをオーストラリア・シドニーに構築予定
- データセクションがアジアにおけるAIインフラストラクチャーの主要プロバイダーとしての地位を確立した大きな一歩
- アジア有数のサーバー機器サプライヤーの Inventec Corporation（以下「Inventec社」）との戦略的パートナーに基づき、信頼性の高いGPU搭載サーバーの供給を確保
- 当社がアジアで最も信頼されるクラウドサービスプロバイダーとしての地位を獲得するというミッションにおける重要なマイルストーン
- 当社は B200/B300 技術における先駆者優位性を活かし、大幅な成長が見込まれているアジア・パシフィックのAIインフラ市場において大きなシェアの獲得を目指す

・業務提携先である Inventec社との間で、NVIDIA 製 B300（10,000個）搭載のGPUサーバー（1,250台）一式の取得にかかる売買契約を締結

- ・潜在顧客である世界最大規模のクラウドサービスプロバイダーからの要請を受けて、オーストラリア・シドニーに開設予定の AI データセンターに導入するため、Inventec社から、NVIDIA製B300（10,000 個）搭載のサーバー（1,250台）一式を取得
- ・取得資産の内容

(1) 資産の名称	GPUサーバー 一式
(2) 取得金額	521百万USドル（予定）

- ・業務提携先であるナウナウジャパン株式会社を通じて、間接的に、世界最大規模のクラウドサービスプロバイダーである顧客との間で、本AIデータセンターサービスにかかる大口の利用契約を2025年10月3日に締結
- ・その後の本顧客との協議により、2025年12月19日付に再締結
 - ・本件顧客専用のGPUサーバークラスター構成、ネットワーク・セキュリティ設計等のセットアップ代金を追加受領
 - ・搭載GPUをNVIDIA社製B200から同社製B300に変更
- ・受注の内容

受注内容	AIデータセンターサービス利用契約
受注金額	セットアップ代金（一時金）：74百万USD（追加分） 利用料金：年間297百万USD ※契約期間は3年間、当社の意思により2年間の延長が可能 (3年総額891百万USD、5年総額1,485百万USD)
売上計上時期（予定）	セットアップ完了は2026年3月、稼働開始は2026年3月下旬を予定しており、売上計上の金額及び時期は精査中

2. 2026年3月期 計画

- ・2026年1月6日付修正今期業績予想より修正なし
- ・2025年9月より、AIインフラ事業が立ち上がり、売上の計上を開始
- ・AI関連新規事業による収益の顕在化により、売上高は37,273百万円、営業利益3,498百万円を予想。主にGPUの減価償却費などを除いた調整後EBITDAは7,239百万円

(百万円)	2026年 1月6日付 修正 今期業績予想	2025年11月28日付 今期業績予想			前期 (2025年3月期) 実績		
		金額	差分 (金額)	差分 (増減率)	金額	差分 (金額)	差分 (増減率)
売上高	37,273	34,810	+2,463	+7.1%	2,942	+34,330	+1,166.7%
営業利益	3,498	509	+2,663	+586.8%	▲496	+3,994	-
調整後EBITDA*	7,239	3,672	+4,881	+97.1%	▲169	+7,409	-
経常利益	2,972	178	+2,333	+1,562.6%	▲613	+3,585	-
親会社純利益	1,908	47	+2,001	+3,917.8%	▲654	+2,563	-
1株当たり純利益	59.34	1.60	-	-	▲37.40	-	-

(*) 調整後EBITDA：営業利益+減価償却費+無形固定資産償却費+株式報酬費用+M&A関連費用

3. 新株予約権の発行及び行使状況

- 第23回新株予約権（行使価額固定型）（以下、「本新株予約権」）の発行
- 2025年10月17日開催の臨時株主総会にて本新株予約権の発行が承認可決され、同日に払込完了

第23回新株予約権（行使価額固定型）

割当予定先	First Plus Financial Holdings Pte. Ltd. (以下「FPF社」)
割当日	2025年10月17日
発行価額	総額809,600,000円（本新株予約権1個につき1,840円）
当該発行による潜在株式数	44,000,000株（本新株予約権1個につき100株）
希薄化率*	199.07%
行使価額**	1,250円
調達資金の額	55,809,600,000円 (内訳) 本新株予約権発行による調達額：809,600,000円 本新株予約権行使による調達額：55,000,000,000円
出資の目的とする財産の内容及び価格	本新株予約権行使に際して出資される財産： ・金銭、または、 ・2025年8月4日付極度方式基本契約（極度額35,000,000米ドル）に基づき、FPF社が当社に対して有する貸金元本債権及び当該貸金元本債権に係る利息債権の合計額
権利行使期間	2025年10月20日から2026年10月19日まで
資金使途	AIデータセンター事業における設備投資資金及び運転資金等
発行の前提条件	2025年10月17日開催予定の当社臨時株主総会において、 (1) 発行可能株式総数の増加に係る定款変更に関する議案が承認されること、 (2) 本新株予約件の発行に関する議案が特別決議により承認されること
その他	・割当予定先が当社取締役会の事前承認を得て本新株予約権を譲渡する場合、譲受人が割当予定先としての権利義務の一切を承継 ・割当予定先の当社普通株式の所有割合が当社の発行済株式総数の33%を超える場合、当社の事前承諾を要する ・本新株予約権の累計行使数が220,000個を超える場合、第1号AIデータセンター案件と同種のAIデータセンタープロジェクトに係る顧客との利用契約又はGPUサーバーの購入契約を締結し、当該事実を東京証券取引所のTdnetを通じて適時開示するまでは、当社の事前承諾を要する

* 2025年8月29日現在の当社の普通株式の発行済み株式総数22,103,051株に対して199.07%（総議決権数（219,674個）に対する割合200.30%。小数点以下第3位を四捨五入）

** 発行決議日前取引日の終値（2,666円）の53.11%ディスカウント

- ・ 第15回（募集新株予約権）、第19回新株予約権（行使価額固定型）、第20回新株予約権（行使価額修正条項付）と第23回新株予約権（行使価額固定型）の公表済み行使状況まとめ

第20回新株予約権（行使価額修正条項付）

- ・ 2025年7月11日付：全量行使
- ・ 全量4,400,000株（発行総数割合100%）行使、4,673,483,200円の払込金額

第19回新株予約権（行使価額固定型）

- ・ 2025年10月24日付：全量行使
- ・ 全量1,488,000株（発行総数割合100%）行使、815,721,600円の払込金額

第23回新株予約権（行使価額固定型）

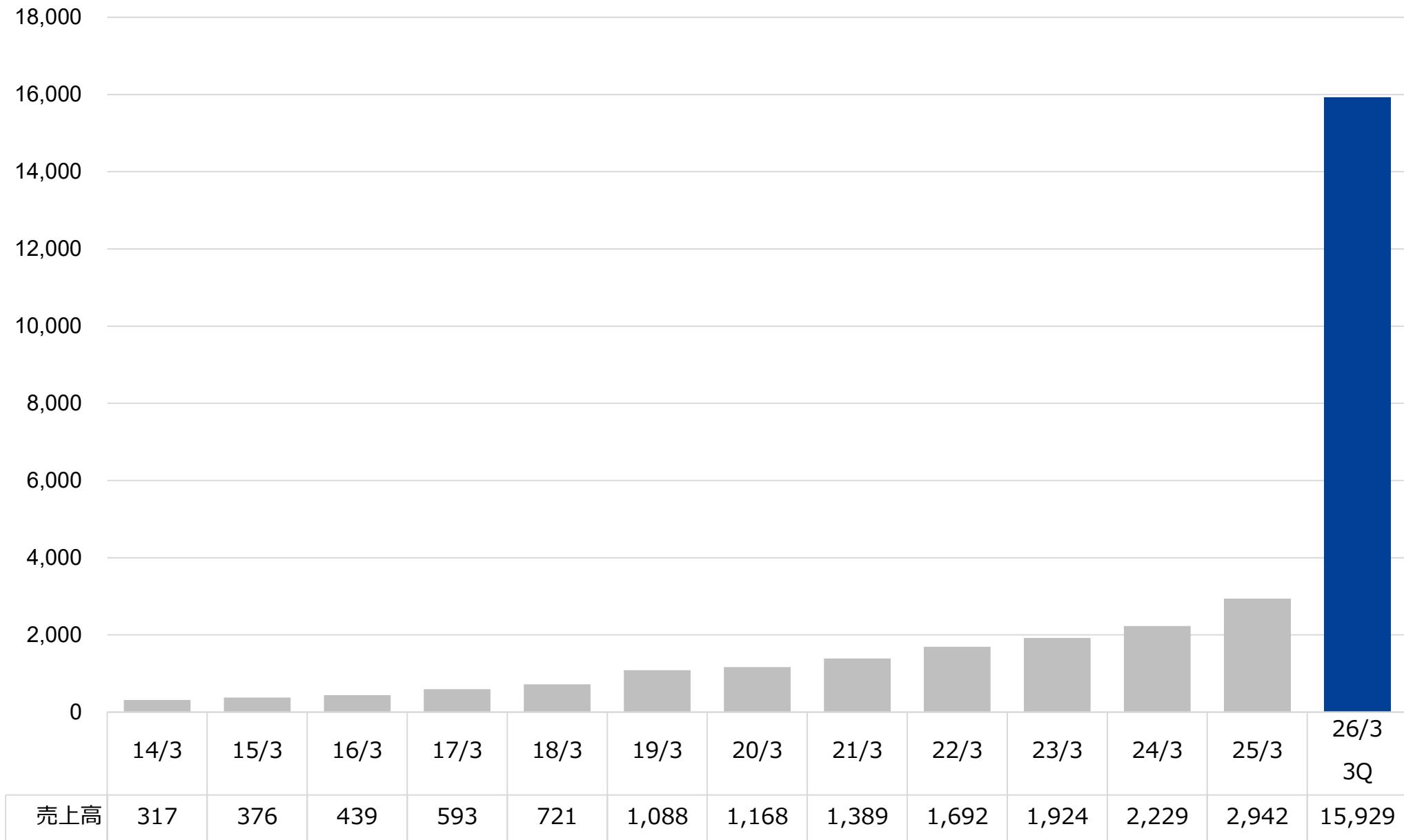
- ・ 2025年11月6日及び同月17日付：一部行使
- ・ 一部6,070,000株（発行総数割合13.79%）行使、7,699,188,000円の払込金額

第15回（募集新株予約権）

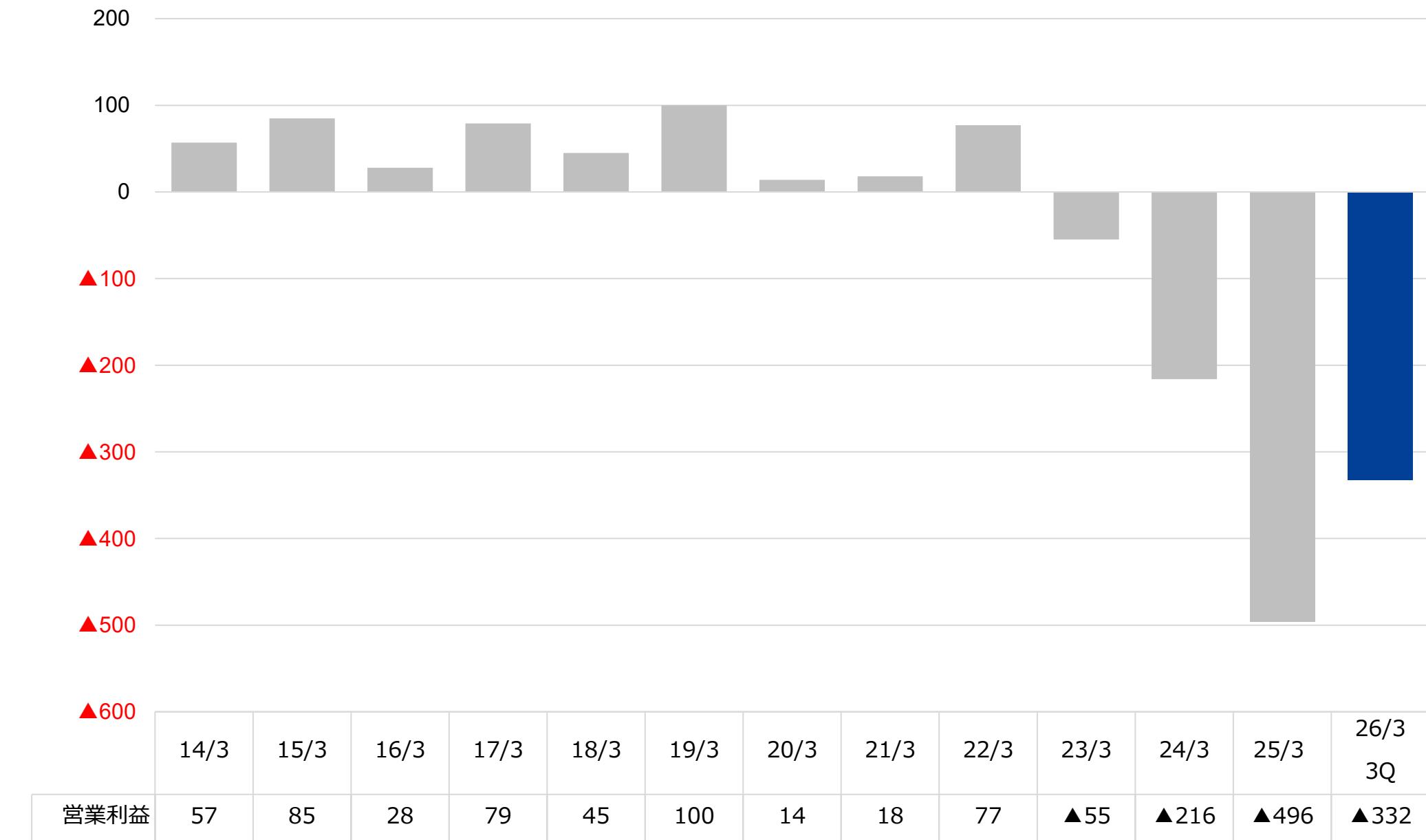
- ・ 2025年12月16日付：一部行使
- ・ 一部108,000株（発行総数割合50%）行使、46,721,880円の払込金額

4. Appendix

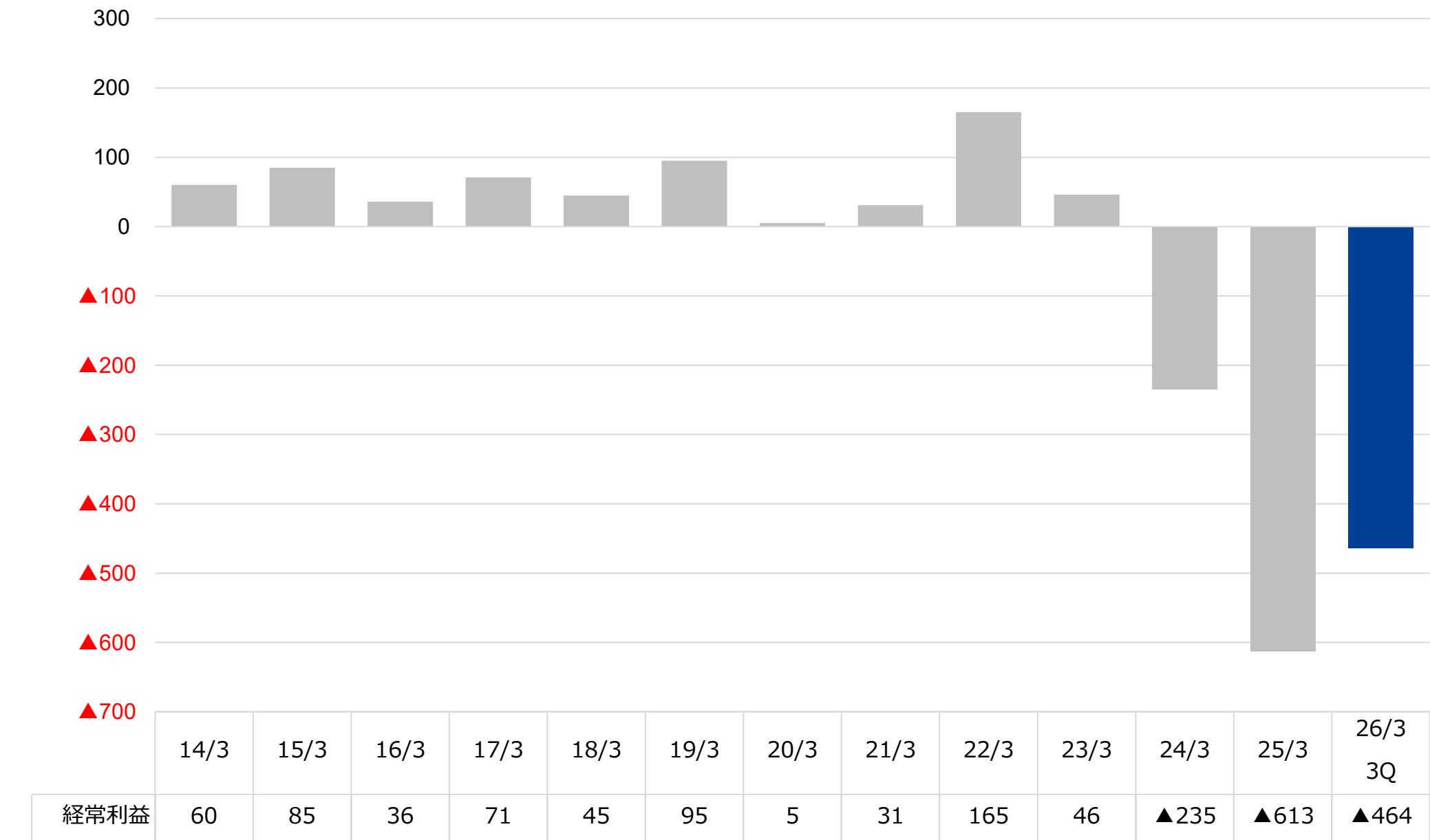
(単位：百万円)



(単位：百万円)



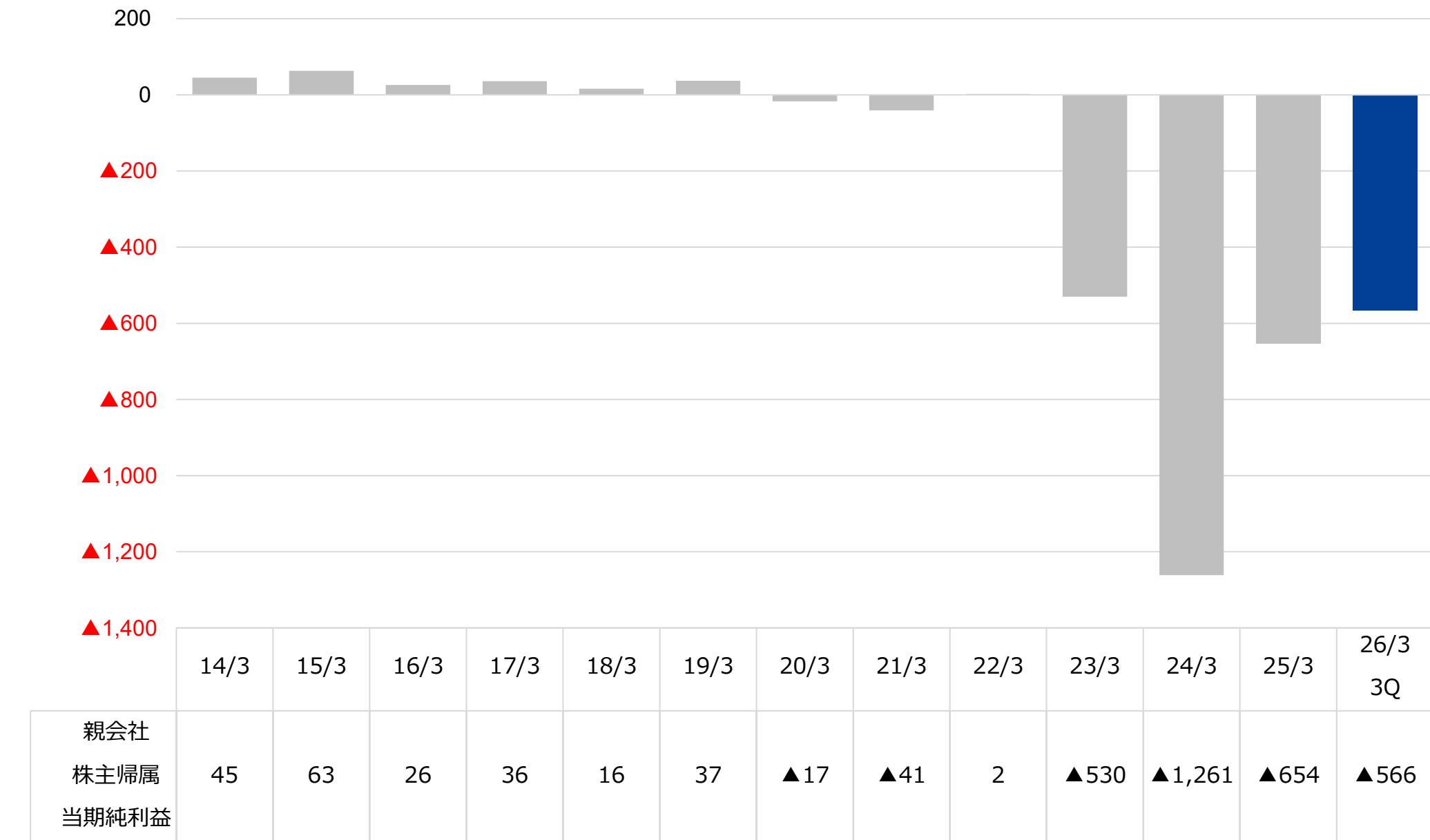
(単位：百万円)



連結 親会社株主に帰属する当期純利益推移

4. Appendix

(単位：百万円)



データセクション株式会社

ir@datasection.co.jp
050-3649-4858

〒141-0031
東京都品川区西五反田1丁目3-8 五反田PLACE 8階
<https://www.datasection.co.jp>

注意事項

- ・ 本資料は投資家の参考に資するため、当社の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- ・ 当資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ・ 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- ・ それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- ・ 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。